

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あいのり （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は平川市南部に位置し、岩質は砂岩、泥岩等の細粒の十和田軽石流堆積地帯で地形は急峻で表土は薄く、直ちに直礫土或いは岩盤に続く岩屑土となっており、急斜面では表土が薄いため、土砂崩壊箇所や倒木被害が見られる。また、崩壊下方には老人介護施設があり、大雨等により土砂崩壊と倒木被害のおそれがある。</p> <p>このため、法面の保護と落石等を防止し、下方の老人介護施設の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.05 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	30,449	千円
	総費用（C）	14,423	千円
	分析結果（B/C）	2.11	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大して土砂が流出し、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、堆積する不安定土砂の流出防止、安定が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果も認められることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あおにさわ 青荷沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は黒石市南部に位置し、山腹上部に転石があり下方には温泉旅館があることから、放置すれば被害が及ぶおそれがある。 このため、落石を防止し、下方の温泉旅館の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.01 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	14,709	千円
	総費用（C）	1,923	千円
	分析結果（B／C）	7.65	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 放置すれば融雪、豪雨等で落石の恐れがあり、保全対象に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、転石が安定し下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の地形・地質・地理状況から見て技術的に妥当な工種・工法で計画されており、また、費用対効果も認められることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～24年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	つうこうどう 通行道 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署 金木支署
事業の概要・目的	<p>当地区は五所川原市北部に位置し、海岸林において平成21年の強風被害により風倒木が多数発生した。本地区の周辺には、公共施設や県道・農地等があり放置すれば保全対象に被害が及ぶおそれがある。</p> <p>このため、海岸林を維持・造成するために森林整備を実施し、海岸林の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 3.00 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	199,625	千円
	総費用（C）	27,751	千円
	分析結果（B/C）	7.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 海岸林の状況から、放置すれば海岸浸食の被害が拡大するとともに飛砂が吹き付けるなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、飛砂の軽減や海岸浸食の防止が図られるとともに、海岸林の復旧により後背地の保全対象が保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～24年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	びょうぶさんだいに 屏風山第二 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 津軽森林管理署 金木支署
事業の概要・目的	<p>当地区はつがる市北部に位置し、海岸林において平成21年の強風被害により風倒木が多数発生した。当地区の周辺には、公共施設や県道・農地等があり放置すれば保全対象に被害が及ぶおそれがある。</p> <p>このため、海岸林を維持・造成するための森林整備を実施し、海岸林の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 3.00 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	160,252	千円
	総費用（C）	27,751	千円
	分析結果（B／C）	5.77	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 海岸林の状況から、放置すれば海岸浸食の被害が拡大するとともに飛砂が吹き付けるなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、飛砂の軽減や海岸浸食の防止が図られるとともに、海岸林の復旧により後背地の保全対象が保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	特定流域総合治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～25年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やげやまさわ 焼山沢 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は風間浦村東部に位置し、崩壊土砂流出危険地区のBランクに指定されている。急峻な地形で溪流内は溪岸浸食及び山腹崩壊により、多くの不安定土砂が堆積しており、豪雨・融雪時等には、土砂流出により、下流域の国道279号線及び漁業施設等に被害を与えるおそれがある。</p> <p>このため溪間工により溪岸浸食の拡大防止及び不安定土砂の流出を防止するとともに、山腹工により崩壊斜面を安定させ、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 6基 山腹工 0.48ha</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	382,567	千円
	総費用（C）	235,542	千円
	分析結果（B/C）	1.62	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪流荒廃地及び山腹崩壊地の状況から、放置すれば溪岸浸食・山腹崩壊の拡大と、不安定土砂の流出により、下流域の国道及び漁業施設等に被害を与える恐れがあることから、当事業の実施が必要である</li> <li>・有効性： 当事業の実施により流出土砂の抑止、調整及び山腹崩壊地の復旧が図られ水土保全機能の向上とともに下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じたもっと効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～23年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	たらっほさわ タラッポ沢 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署久慈支署
事業の概要・目的	<p>当地区は久慈市南部に位置し、平成21年10月の台風18号により山腹斜面及び溪流内に堆積していた不安定土砂が流出し、市道久喜漁港線に土砂が堆積した。今後の更なる降雨等により山腹・溪流内に堆積している不安定土砂の流出が懸念される。</p> <p>このため溪間工を施工し、下流域の民家や市道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 5基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	105,271	千円
	総費用（C）	53,698	千円
	分析結果（B／C）	1.96	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出するおそれがあることから、事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止により下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画にあたっては、現地の状況に応じた効果的かつ効率的な工種及び工法を検討し、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	わしあいもりさわ 鷲合森沢 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は西和賀町南部に位置し、平成19年9月の台風9号により溪岸崩壊が発生し、鷲合森沢の上流より大量の土砂が流出するとともに、現在も溪床には大量の不安定土砂が堆積しており、放置すれば今後の豪雨・融雪等により溪岸崩壊の拡大及び不安定土砂が下流域へ流出するおそれがある。このため、溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、下流域の市町村道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	54,285	千円
	総費用（C）	28,846	千円
	分析結果（B / C）	1.88	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸浸食の状況から、放置すれば土砂が流出する恐れがありことから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保持機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	山地災害総合減災対策（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～24年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おがっ 雄勝 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は石巻市東部に位置し、平成21年10月8日の台風18号による集中豪雨が発生し甚大な被害が発生した。同地区内の小島地区では最大日雨量約290mm、最大瞬間風速約32m(石巻市)を観測し、溪床にあった土砂が流出したため、県道・市道が分断され、一時的に孤立状態となるなど、公共交通機関において大きな影響がでた。また、豪雨により土石流の発生の危険性もあることから住民が避難する状況となった。民家においても、土砂流入や床上・床下浸水による多大な被害が発生したほか、現在も溪床には不安定な土砂が堆積し、山腹斜面には崩壊箇所が存在していることから、早急な対策を実施する必要がある。</p> <p>このため、溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 6基 山腹工 0.24ha</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	208,559	千円
	総費用（C）	65,407	千円
	分析結果（B／C）	3.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出するおそれがあることから、事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止により、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地の状況に応じた効果的かつ効率的な工種及び工法を検討し、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～25年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	とくら 戸倉 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は石巻市東部に位置し、平成21年10月8日の台風18号による集中豪雨が発生し甚大な被害が発生した。同地区内の小島地区では最大日雨量約290mm、最大瞬間風速約32m(石巻市)を観測し、当地区においても溪床にあった土砂が流出したため、町道・林道の分断やJR気仙沼線が運休するなど公共交通機関において大きな影響がでた。また、民家においても、土砂流入や床上・床下浸水による多大な被害が発生したほか、現在も溪床には不安定な土砂が堆積しており、早急な対策を実施する必要がある。</p> <p>このため、溪床に堆積している不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 3基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	135,902	千円
	総費用（C）	47,512	千円
	分析結果（B／C）	2.86	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況から、放置すれば土砂が流出するおそれがあることから、事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止により下流域の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画にあたっては、現地の状況に応じた効果的かつ効率的な工種及び工法を検討し、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	きんかさんだいに 金華山第二 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は石巻市東部に位置する離島であり、本海岸では、台風や暴風等を起因とする高波及び波浪により、海岸線が破壊・浸食され山腹の崩壊が生じて多量の土砂が流出し、さらに拡大している状況にある。また、松くい虫被害により島内にあるクロマツ等に大きな被害が発生し、山腹から土砂が流出して斜面の崩壊が拡大し、港湾施設（灯台）に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>このため、海岸線の浸食を防止するため、植栽工等の森林整備を実施し、斜面の安定を図り、土砂の流出の防止と保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 12.00 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	27,199	千円
	総費用（C）	9,145	千円
	分析結果（B／C）	2.97	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹斜面の状況から、放置すれば崩壊が発生、拡大して保全施設への被害と海へ土砂が流出するなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊が防止されるとともに山腹の復旧が図られるとともに、飛砂の軽減、潮害の軽減、海岸浸食の防止、水土保全機能の向上とともに、後背地が保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	やもと 矢本 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は東松島市東部に位置し、台風や暴風等を起因とする高波及び波浪により、海岸線が浸食され森林から多量の土砂が流出し、潮害や飛砂による被害が発生している状況にある。また、松くい虫被害によりクロマツ等に大きな被害が発生し、保安林の機能が著しく低下して地域住民の生活に大きな被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>このため、植栽工等の森林整備を実施し、林内の安定を図り、土砂の流出の防止と保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 13.00 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	32,884	千円
	総費用（C）	8,060	千円
	分析結果（B/C）	4.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 森林の状況から、放置すれば海岸浸食の被害が発生、拡大して保全施設への被害と海へ土砂が流出するなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、山腹崩壊が防止されるとともに山腹の復旧が図られるとともに、飛砂の軽減、潮害の軽減、海岸浸食の防止、水土保持機能の向上とともに、後背地が保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	治山先進技術実証（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	くまさわ 熊沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は鹿角市南部に位置し、平成9年に発生した大規模な地すべり災害対策として、各種対策工を施工してきたところである。現在は対策工の概成から5年が経過しており、林相は低草木が生育しているものの、厳しい気候や土壌により高木の生育が乏しい状況にあることから、災害に強い林地を作るため、地表肥沃度の向上・下層植生の生育・高木類の根による土壌緊縛力を高める必要がある。</p> <p>このため、高木樹種を混植及び密植して植物本来の生育競争力を促す植栽方法を導入・実証し、保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 0.77ha</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	65,813	千円
	総費用（C）	8,654	千円
	分析結果（B/C）	7.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 国立公園の隣接箇所であり、自然景観上林相回復は必要であること、厳しい気候下で、肥沃度の低い地況での林相回復を混植・密植する方法が有効であるかを実証する必要があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、高木類の根系土壌緊縛力による土壌の流出防止が図られ、水土保持機能の向上とともに、自然景観の向上が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～24年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かけたさわ 欠田沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は北秋田市北西部に位置し、豪雨等により山腹面に崩壊が生じ、その後の豪雨・融雪等により拡大する傾向にあり、放置すれば下流域の保全対象に被害が及ぶおそれがある。 このため、土砂流出の防止を図り、下流域の集落の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	123,597	千円
	総費用（C）	31,459	千円
	分析結果（B／C）	3.93	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～24年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	じもりさわ 地森沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署
事業の概要・目的	<p>当地区は北秋田市北西部に位置し、豪雨等により山腹面に崩壊が生じ、その後の豪雨・融雪等により拡大する傾向にあり、放置すれば下流域の保全対象に被害が及ぶおそれがある。 このため、土砂流出の防止を図り、下流域の集落の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	112,546	千円
	総費用（C）	26,833	千円
	分析結果（B／C）	4.19	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	かみあさひさわ 上朝日沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は藤里町北部に位置し、豪雨等により溪岸崩壊が発生し溪床には不安定土砂が堆積し、放置すれば今後の豪雨等により、不安定土砂が流下し下流域に被害が及ぶおそれがある。</p> <p>このため、溪床に堆積している不安定土砂の流出をを防止し、下流域の県道等の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	41,334	千円
	総費用（C）	16,346	千円
	分析結果（B / C）	2.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 溪床の不安定土砂の堆積状況や溪岸浸食の状況から、放置すれば土砂が流出する恐れがあることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂の流出防止が図られ、水土保全機能の向上とともに、下流域の保全等が図られることから有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～23年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	おおびらきはま 大開浜 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は能代市西部に位置し、昭和58年の日本海中部地震に伴って発生した津波により海岸林は、大きな被害を受けた。また、波浪や風による砂丘の浸食、さらにクロマツ林における林木の衰弱・故損などが発生している状況にある。</p> <p>このため、海岸林を維持・造成するために森林整備を実施し、海岸林の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 44.28ha</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	470,105	千円
	総費用（C）	64,638	千円
	分析結果（B／C）	7.27	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 海岸林の状況から、放置すれば海岸浸食の被害が拡大するとともに飛砂が吹き付けるなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、飛砂の軽減や海岸浸食の防止が図られるとともに、海岸林の復旧により後背地の保全対象は保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	みずなしさわ 水無沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は仙北市北東部に位置し、平成21年7月豪雨等により溪岸浸食が拡大したほか溪床に堆積していた不安定土砂が下流へ流出し、農業用水路へ土砂が堆積するなどの被害を及ぼした。今後の豪雨・融雪等により溪岸浸食の拡大及び溪床の不安定土砂が下流域へ流出するおそれがある。</p> <p>このため、溪岸浸食の拡大と溪床の不安定土砂の流出を防止し、下流域の水路、鉄道、国道、民家、農地の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 水路工150m</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	166,134	千円
	総費用（C）	19,519	千円
	分析結果（B/C）	8.51	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 溪床の荒廃状況から、放置すれば溪岸等の崩壊が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、溪岸浸食等の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	こあいさわ 小相沢 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は仙北市北部に位置し、平成21年7月豪雨等により山腹崩壊が発生し、溪流へ土砂が流出したほか、溪床の不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨・融雪等により下流域へ流出するおそれがある。</p> <p>このため、崩壊斜面及び溪床に堆積してある不安定土砂の流出を防止し、下流域の道路、民家、農地の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	184,560	千円
	総費用（C）	34,904	千円
	分析結果（B / C）	5.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 山腹崩壊地の状況から、放置すれば崩壊地が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	海岸防災林造成（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度～26年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	ほんじょうかいがん 本庄海岸 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 由利森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は由利本庄市西部に位置し、昭和58年以降の松くい虫被害及び平成10年の豪雪により甚大な被害を被り、海岸林の持つ公益的機能が損なわれており、平成12年以降本数調整伐及びクロマツ植栽を断続的に行ってきたが、その後の台風や暴風等を起因とする高波及び波浪により、海岸線が浸食され森林から多量の土砂が流出し、潮害や飛砂による被害が発生している状況にある。このまま放置すれば保安林の機能が著しく低下して地域住民の生活に大きな被害が及ぶおそれがある。</p> <p>このため、植栽工等の森林整備を実施し、林内の安定を図り、土砂の流出の防止と保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 森林整備 111.00 h a</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	321,051	千円
	総費用（C）	32,245	千円
	分析結果（B/C）	9.96	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 海岸林の状況から、放置すれば海岸浸食の被害が拡大するとともに飛砂が吹き付けるなど、保全対象に被害が及ぶことが予想されるため、当事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 事業の実施により、飛砂の軽減や海岸浸食の防止が図られるとともに、海岸林の復旧により後背地の保全対象が保全されることから、有効性は認められる。</li> <li>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況（地形・地質・地理等）に適正かつ効率的な樹種・保育であり、費用対効果も認められることから、効率性は適当と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	よつめさわ ヨツメ沢 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は鶴岡市南部に位置し、標高500m分水界を頂点に南に向かって斜面を形成する低山地帯である。施工予定地の上流には古くに設置されたとされる他所管所有の堰堤があり、既に満砂状態であることに加え老朽化に伴う危険性も懸念される。また下流には県道があり豪雨の都度、土砂災害が発生しており、平成19年6月には全線通行止めとなる被害を与えている。このため溪流に堆積する土砂の流出を抑止し、溪床・溪岸を固定して荒廃地の拡大を防止し、下流域の保全対象の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	88,033	千円
	総費用（C）	15,642	千円
	分析結果（B/C）	5.63	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 溪床の荒廃状況から、放置すれば溪岸等の崩壊が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、溪床内に堆積する不安定土砂流出防止と溪岸侵食防止を図ることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と判断される。</p>		

## 事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業実施計画期間	平成22年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あしみずかわ 足水川 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 置賜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は小国町西部に位置し、標高は160～240m程度で沢に沿って一部、岩の露出した急傾斜地が見られる。地質は、新第三紀中新世の小国層が広く分布している。この地区は、平成18年の豪雨の際に沢上流の山腹斜面が崩落し、土砂が下流の国道脇側溝を閉塞させた。また、崩壊地には岩塊（直径1m）が露出していたが、一部が土砂流出の際、国道に数mのところまで流出した。こうした状況は、豪雨とともに毎年のように被害をおこしている。このため、上流にある岩塊及び堆積土砂等の流出を防止するため、溪間工を施工し、溪床の安定及び下流域の国道の保全及び保安林機能の増進を図るため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総便益（B）	74,868	千円
	総費用（C）	21,154	千円
	分析結果（B／C）	3.54	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 溪床の荒廃状況から、放置すれば溪岸等の崩壊が拡大し土砂が流出する懸念があることから、当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 事業の実施により、溪岸浸食等の復旧が図られ、水土保全機能の向上とともに、下方の保全等が図られることから、有効性は認められる。</li> <li>・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、費用以上の効果も期待できることから、効率性は認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切かつ効率的な計画と認められる。</p>		